

自宅で国際交流してみませんか？

～埼玉県国際交流協会ホームステイ ボランティアを募集しています～

●「ホームステイボランティア」とは？

留学や研修で来日している外国人（以下、ゲスト）は寮などで生活しているため、日本の文化や生活に触れる機会が少ないのが実情です。そのような、主に日本語の話せる海外からのゲストを 1 泊 2 日でご自宅に迎え入れ、一般的な日本の生活を体験できるようにご協力いただくボランティア活動です。



●主な事業

埼玉県国際交流協会が実施する主なホームステイ事業は次のとおりです。

- ① 県内大学※の外国人留学生のホームステイ事業
- ② 日本語国際センター海外日本語教師のワンナイトステイ事業

※グローバル人材育成センター埼玉運営協議会の会員大学

●ホームステイボランティアをするには

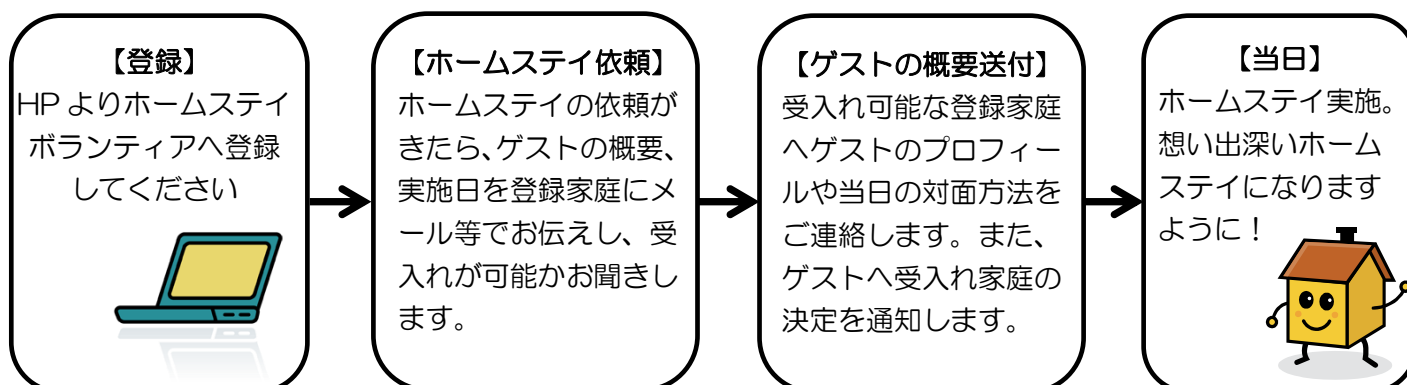
まずは、埼玉県国際交流協会のホームページから「ホームステイボランティア」へのご登録をお願いします。
また、登録内容を変更する場合も下記フォームからお知らせください。

《登録条件は次のとおりです》

- ① 宿泊のため個室をご提供いただける方
- ② ご家族全員の理解が得られる方

※一人暮らしの方は、当日お友達などにも宿泊してもらい、複数名による受け入れができる方

●ゲスト受入れまでの流れ



※ご登録頂いた個人情報は、ホームステイ事業（ゲストとホストの連絡調整および年間スケジュール等のご案内）以外には使用いたしません。

ホームステイ経験者の声

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1 日目は、ショッピングモールで一緒に買い物をしました。

100円ショップでクッキングの道具などを購入し 次回我が家に来たらケーキを作りたいと言っていました。

食事は、宗教上豚肉がダメだそうで、予定していたメニューを急遽変更しました。プロフィールに無かったので少々慌てましたが、家族でワイワイと異文化交流をしながらの夕食は盛り上がりました。



2 日目は、午前中に着物着付け体験をして、写真もたくさん撮りました。

午後は、私も行きたかった大宮第二公園の「梅まつり」に行き、特に同時開催されていた「陶器市」をととても喜んでくれて、お土産に湯呑みを2つ買っていました。



その後、和食レストランで皆で会食して駅に送りましたが、その後も浦和でのイベントに同行したり、我が家の「ひな祭りパーティ」で、七段飾りのお雛様を楽しんでくれたりしました。

これからも度々訪れてもらい、一緒に料理をしましょうと話しています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

やはり、相手の人格や国、宗教に敬意を示すことでしょうか。

工夫と言うほどではありませんが、あまりお客様扱いをせず、日本人の普段の生活を見てもらうようにしています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします

今回は相手の国について勉強不足（いつもですが・・・）でしたが、聞くこと全てが珍しく、まさにお茶の間で異文化交流を楽しみました。

ひとつだけ心がけているのは、みなさん日本が好きで日本語を勉強したり、留学先に日本を選んでくれたので、帰国の時にはもっと日本を好きになってもらえたら良いな～ということです。

良い方をご紹介くださり、ありがとうございました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

近くの公共施設のフェスティバルで、ちょうど色々なイベントをしていたため、茶道体験やだるま絵付け体験などをしたり、公園やドライブもしました。



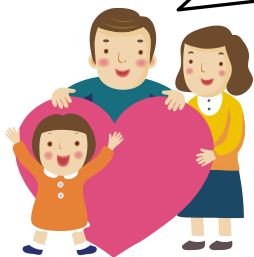
・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

家族の一員として、心地よく過ごしていただけるようにしました。あらかじめ、受け入れする方の国について、子どもたちと調べて話しました。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

色々な話をして、子どもたちも外国の方を身近に感じられ、とても楽しく過ごせました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

ひな祭りが近かったので、岩槻の雛人形工房に見学に行きました。あとは、一緒にスーパーに行って食べたいものを聞きながら買い物をするなど、自宅でゆっくり過ごし、特段出かけることはしませんでした。その分、時間に追われず、娘もコミュニケーションをはかることができました。本人にも楽しんでもらったように感じています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

相手の住んでいる国のこと、本人の将来の計画など、日本語や英語でもたくさん質問してできるだけコミュニケーションの量と質を高めるようにしています。また、ゲストが遠慮したり、緊張する必要がないように、フランクに接するように心がけています。

ステイ中は、なるべく本人の希望を聞き、沿える部分を増やすようにしています。ステイが終わるときには、一回きりの付き合いで終わってしまわないように、お互いの連絡先を詳しく交換しています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

日本語がまだ上手でない方も受け入れましたが、礼儀正しく、マナーも良かったです。将来にわたり、家族のメンバーとゲストがコミュニケーションをとり続けられると良いと思います。

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1日目は、長女が作ったやきそばやサンドイッチ、サラダの昼食を取った後、さいたま市の盆栽美術館を見学しました。その後、ゲストと家族4人でおしゃべりを楽しみました。フェイスブックを使い、ゲストの2人の娘さんとご主人も紹介してもらいました。夕食は、一緒に近くのスーパーに買い出しに行き、寄せ鍋、きんぴら、ぬか漬けなど、掘りごたつのある1階の祖父母の所で食べました。

2日目は、ごはん、味噌汁、さけ、卵焼き、のり、うめぼしといった朝食をとったあと、小江戸川越を楽しみました。

蔵造りの街並み、まつり会館、菓子屋横丁など、非常に喜んでいただけました。夕食をとったあとに、車でゲストの居室がある日本語国際センターまでお送りしました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

当たり前のことですが、家族同様に接するよう心掛け、必要以上に気を使わないことです。あまり気を使い過ぎるとお互い疲れてしまいます。また、ゲストの方には一般家庭を通じて、日本のことを学んでいただくとともに、私たち家族もゲストの方から様々なことを得ることができるウィンウィンの関係が重要だと思います。

我が家では、家族全員で心をこめてお迎えしますが、3人の子供たち（24歳、21歳、18歳）が順番に主ホスト役となることとしています。役割としては、2日間のおもてなしの計画（食事のメニューとお連れする場所の選定、部屋の提供など）を事前に考えて準備することとお世話係です。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

非常に親しみやすく誠実な方で、トルコの大学で日本語を教えているだけあって、教養や見識も深く、こちらの方が学ぶことの方が多かったです。

様々な国に行かれている方なので、いろいろな話を聞き、刺激を受けました。また、大学進学後に海外留学を希望している長女に対して、非常に役立つアドバイスをいただくとともに、バックパッカーとして世界中を旅している次男には次の訪問国へのヒントをいただけたようです。



さらに、長女が日本語国際センターで開催された歓送会のパーティに参加させていただき、ゲスト以外の多くの国の方々とも話ができ、有意義なひとときを送ることができたと大喜びでした。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

タイの留学生2人を受け入れました。初日は午後2時頃に来て頂き、家でゆっくりしていろいろなお話をしました。まずお茶とお菓子で一休みしてから、タイの地図で2人のホームタウンを教えてもらい、住んでいる地域の様子や家族の事などいろいろ話してもらいました。私達も行った事のあるタイの地域を地図で見ながら、タイでの体験話などして話がもりあがりました。

また、私達も家族の話をして写真も見てもらいました。日本の結婚式や七五三の祝い、旅行や、いろんな事を我が家の写真でみてもらいました。

夕食は早めに普段の和食でしました。私は料理は得意ではないので 美味しかったかどうかは??です。夕食後、私は地域の役員会に出席したので、その間2人の留学生と主人の3人で話をしていました。

2日目は朝食のあと、私と音楽仲間で時々行うコンサートへ一緒に行きました。演奏家5人（ピアノ、バイオリン（2人）、チェロ、ピオラ）を呼んでのプライベートのコンサートです。タイではクラシック音楽を聴く機会が無かったそうで「とても良かった」と言っていました。

コンサート後、レストランで夕食をして家にもどりましたが、2日間アッというまで一緒に写真を撮るのを忘れていて、2人が帰る間に居間で一緒に撮りました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

いろんな話に花がさくのですが、宗教と政治については深い話はしないようにしています。また、留学生の興味等をできるだけ満足してあげるよう心がけています。ホームステイ後も日本滞在中はできるだけ我が家を訪れてもらえるようにしています。

ただ、私たちは留学生が日本滞在中にあれもこれも体験させてあげたいと思う気持ちが強いので、押しつけがましくならないようにと気持ちをセーブしています。それから、できるだけ日本の良いところを持ち帰ってもらおうと思っています。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

2人を受け入れたときも、どちらの方も気づかいはあるし、礼儀正しいし、明るく楽しい学生さんたちでした。勉強にも意欲が有り 好奇心も旺盛で前向きです。若い人はいいです。私達も大いに元気をもらいました。

これからもいろんな国の方との出会いを楽しみにしています。



ゲストから・・・

- ・ホームステイ前は少し心配でしたが、ホストファミリーがとても優しくしてくれたので感動しました。いろいろな体験ができて良かったと思います。
- ・留学で日本に長く住んでいるので、いまさらホームステイするのもおかしいかな、と最初は思っていた。でも本当に行って良かったです。



●よくある質問

Q：ホームステイ中は、ゲストを観光地などにお連れすべきでしょうか？

A：ゲストの多くは、在籍している研修施設や大学の寮で生活しています。そのためホームステイでは、ご家族と一緒に料理を作る、近くを散歩するなど、日本の一般家庭の生活を体験することを楽しみにしています。必ず観光地に連れて行かなくてはならない、というようなことはありません。

Q：受入れをする家庭は、英語などの外国語ができないと難しいでしょうか。

A：ゲストにとって、ホームステイ中は先生以外の日本人と日本語を話す貴重な機会です。可能な限り、やさしい日本語での交流をお願いします。なお、ゲストが話せる言語は依頼させていただく時にお伝えします。

Q：提供する食事は日本食で良いでしょうか？

A：食事 중요한日本文化のひとつです。普段召し上がっている食事をご提供ください。ただし、ゲストによって宗教・信条等による食事制限がある場合には、ご配慮をお願いいたします。

◎◎ 宗教による食事制限について ◎◎

☆ベジタリアン

- ・肉（エキスを含む）、魚（エキスを含む）を一切食べません。
- ・人によっては、卵、乳製品も食べません。

＜食べられる物の例＞

朝食 野菜サンド、ご飯、サラダ、フルーツ、味噌汁（昆布だし）、おもち、など
昼食 ポテトフライ、野菜ピザ、トマトソースのスパゲッティ（ベーコンなどの入っていないもの）、
ガーリックトースト、オムレツ（卵が食べられる人）など
夕食 ご飯、湯豆腐、田楽、パン、野菜てんぷら（塩で）、野菜のフライ、野菜の煮物、など



☆イスラム教

- ・豚肉は食べません。ハム、ベーコン、ラード、豚肉エキス等を含んだものも食べません。
- ・アルコールは飲みません。人によっては「みりん」が入っている料理も食べません。
- ・鶏肉、牛肉は食べられますが、イスラム教で許されているハラールの肉（宗教的に処理された肉）以外は食べない人もいます。

＜食べられる物の例＞

朝食 たらこおにぎり、果物、和菓子、おもち、味噌汁、サラダ、など
昼食 焼き鳥、漬物、スパゲッティ、ツナサンド、おでん、ごはん、など
夕食 鶏のから揚げ、てんぷら、手巻き寿司、焼き魚、オムレツ、など



☆その他

食事制限以外にもアレルギーや生活習慣、宗教の違いから日本ではあまりなじみのない行動をとる研修参加者がいます。研修参加者の行動などで戸惑うことがありましたら、本人に事情などを聞いていただきますようお願いいたします。

出典：日本語国際センター 作成「埼玉県ワンナイトステイ事業（ホームステイ）について
H24受入家庭の皆様へ」より抜粋。

●平成 28 年度年間スケジュール（予定）

	実施日	予定人数	依頼機関
1	平成 28 年 5 月 21 日(土) ～ 22 日(日)	50 名	日本語国際センター
2	6 月 25 日(土) ～ 26 日(日)	12 名	日本語国際センター
3	7 月 9 日(土) ～ 10 日(日)	15～20 名	GG S 運営協議会の会員大学
4	7 月 23 日(土) ～ 24 日(日)	若干名	日本語国際センター
5	8 月 6 日(土) ～ 7 日(日)	若干名	日本語国際センター
6	10 月 8 日(土) ～ 9 日(日)	若干名	日本語国際センター
7	11 月 5 日(土) ～ 6 日(日)	15～20 名	GG S 運営協議会の会員大学
8	11 月 12 日(土) ～ 13 日(日)	若干名	日本語国際センター
9	平成 29 年 1 月 28 日(土) ～ 29 日(日)	若干名	日本語国際センター
10	2 月 11 日(土) ～ 12 日(日)	若干名	日本語国際センター
11	2 月 25 日(土) ～ 26 日(日)	15～20 名	GG S 運営協議会の会員大学

※上記の日程・実施機関以外に、当協会に対して打診があった場合には、それに合わせて受入れ家庭の募集をさせて頂くことがあります。

※日本語国際センターは、当協会を含めた複数の団体に出されるため、依頼が来た場合、実施します。予めご了承ください。

●ご注意いただきたいこと

- ・原則として無償ボランティアとしての活動をお願いしております。ただし、プログラムによっては食費相当分の謝礼や交通費などを、依頼団体が負担する場合があります。
- ・ホームステイ中の経費は原則本人負担ですが、ホストファミリー、ゲストともにどうすればよいか戸惑うことがあるようです。支払が必要な場合は、ゲストに事前におよその金額などをお伝えください。

（参考）最近の実績

実施年度	人数	ゲストの主な出身国
平成 26 年度	54 名	中国、ドイツ、インド、バングラディッシュ、スリランカ、カンボジアなど
平成 27 年度	69 名	中国、パキスタン、ハンガリー、ネパール、イタリア、韓国、インドなど



お問い合わせ：公益財団法人 埼玉県国際交流協会（SIA）

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 浦和合同庁舎 3 階

TEL：048(833)2992 FAX：048(833)3291 E-mail：sia@sia1.jp

ホームページ：http://www.sia1.jp/